

## 平成29年度第3回社会教育委員会議及び公民館運営審議会議事録

### 1. 日 時

平成29年11月9日（木）午前9時30分～午前11時50分

### 2. 場 所

河内長野市役所7階 行政委員会室

### 3. 出席委員（名簿順）

木之下議長、大谷副議長、中田委員、太田委員、山本委員、村上委員、原田委員、吉田委員、上嶋委員、三軒委員、安田委員、寄田委員

### 4. 事務局

和田教育長、橋本生涯学習部長、森井文化・スポーツ振興課長、井上ふるさと文化財課長、森下図書館長、古谷地域教育推進課長、古城文化・スポーツ振興課長補佐、東畑文化・スポーツ振興課生涯学習推進係長、井上文化・スポーツ振興課生涯学習推進係副主査

### 5. 議事案件

#### （1）開会

事務局より河内長野市社会教育委員会議規則第9条及び公民館運営審議会規則7条の規定により委員の出席状況の報告と会議が成立している旨を報告。

#### （2）寄田委員へ委嘱状の交付。

#### （3）委員・事務局職員の紹介及び山本委員、吉田委員の市長表彰受賞の報告。

#### （4）教育長あいさつ

教育長より会議開催に当たりあいさつ。

#### （5）事務局による配布資料の確認。

#### （6）平成30年度包括予算の状況について

・基本的な方針として平成29年度予算226億7,800万円から5億円減額して平成30年度予算では、221億7,900万円で編成する。歳入に見合った予算を組むこととし、児童福祉や老人福祉などの扶助費や市債などの借金返済にかかる公債費、国民健康保険や介護保険事業への繰り出し等の削減することのできない経費と特に重点的に位置づ

けた事業にかかる経費を除いた経常経費と人件費を含むものを包括予算の対象額とし、8%の削減額を各部局に割り当てその局内で予算を編成する。

生涯学習部では平成29年度包括予算対象経費10億4,187万3千円から平成30年度9億5,852万5千円に8,334万8千円の削減を行う。また、子ども未来部では、平成29年度18億9,111万6千円から平成30年度17億3,982万8千円へと減額することになり非常に難しい予算編成に取り組んでいる。その柱として、平成30年度予算の編成に当たり、大きく3つの施策（社会教育三施設）内容の変更を行う。

#### (7) 社会教育三施設の管理運営の変更について

##### ① 岩湧野外活動広場の休止（文化・スポーツ振興課）

平成30年度の本市社会教育事業の実施にあたり、厳しい財政状況を踏まえて、効率性及び効果性の観点から検討を行った。

結果、施設の老朽化が著しく、今後の改修にかかる費用の増加が見込まれる一方、近年の利用者数が減少傾向にある岩湧野外活動広場について、事業の費用対効果をかんがみ、平成30年4月より当該施設の運営を休止する。

##### ② 滝畑ふるさと文化財の森センター「附属プールの休止」（ふるさと文化課）

施設の老朽化が著しく、安全性の面からプール塗装面の補修の必要が生じ、また、その他今後の改修にかかる費用の増加が見込まれることから滝畑ふるさと文化財の森センター附属プールについて、事業の費用対効果をかんがみ、平成30年4月より当該施設の運営を休止する。

##### ③ 図書館の休刊日の変更（月曜休館）（図書館）

図書館は、利用機会の拡大を目的に第2月曜を除く月曜日を開館しているが、一日の入館者及び貸出冊数は、他の曜日に比べて最も少なく、月曜開館のため本来休館している市民交流センターのエントランスの受付を開けているのが現状で、厳しい財政状況を踏まえると、効率性及び効果性の観点から市民交流センターの休館日である月曜日を図書館の休館日にすることで、より一層の画一的な施設管理を図り、効率的な事業運営をすすめる。

#### ・質疑応答

質問①：図書館の休日について公民館や周辺自治体がほとんど月曜が

休みということだが同じ曜日にすれば市民サービスの低下につながるのでは、逆に火曜日とか別の曜日にする方が効率的ではないか。また公民館の利用状況に合わせた休館日の検討も含めて考えていくことが効果的ではないか。

回答①：市民交流センターが月曜休みの中で図書館も月曜休みにすることのより、効率的に経費の削減が図れる、また、サービスの低下につながらないように機械化等の省力化を図っていく。

質問②：岩湧について休止はいいのだが安全面・防犯面ではどうするのか、また一般企業等に活用を呼び掛けては。市税以外に財源となる収入を考えてはどうか。

回答②：キャンプ場は、岩湧の森のエリア内のため、公園の一部として農林課に移管で交渉している。キャンプ場としての利用は、コストがかかるので日帰り利用として使えないか、また、管理棟を含め施設自体は残っているので使える間は利用したい。管理経費も含めて赤字覚悟でやってもらえるところがあればお願いしたい。

新たな財源としては、青少年の健全育成 文化・スポーツの振興、図書館、図書の実充に充てるため、ふるさと納税のシステムを利用したふるさと基金の創出を考えている。

## (8) 意見

- ・キャンプ場については、老朽化も進んでいることや保守等で費用がかかるだろうから休止もやむをえない。また、図書館については月曜休館でいいのでは。
- ・プールについて、烏帽子が廃止になり市営プールとしては寺ヶ池公園だけとなった。夏の間だけでも小中学校のプールを開放してほしい。

## (9) その他

- ・親学推進協議会の活動について報告。
- ・成人の集いについて、成人を迎える人達で企画運営してけるように以前答申を出した。

多くの市民の人が成人式をしていることを知らない、町中で祝うことが大事だと考える。町中では、いろんところで「のぼり」が使われている。市民や団体が成人を祝い応援しているということを示すためにラ

ブリーホールの周りに各団体が「のぼり」を立てることにより応援をしていく場を作っていけばどうか議長より提案があり、委員の賛成を受け、進めていくことに決定。

- ・平成29年度近畿地区社会教育研究大会〔京都大会〕について報告。
- ・文化財の森センターのプールの跡地活用についてアイデアがあるので整理の上事務局に提出。

#### (10) 閉会

議長より閉会のあいさつ。